

## 2025年度 オープン・シンポジウム 開催案内

2026年3月16日(月)13:30-17:00

参加費 無料

事前申込要

会場

(定員 50名)

神戸大学 深江キャンパス 総合学術交流棟1F 梅木Yホール

[map] <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/campus-life/general/access/fukae/campusmap/>

リモート

(定員 100名)

ZOOMミーティング

詳細は申込受付後にご案内

参加申込

お申込みは右のURL

またはQRコードから

⇒ <https://forms.gle/SoK8MGjkCCoXKTBBa>

IGAS-HyTecは神戸大学の水素・未来エネルギー技術研究センター(HyTec)が主宰する勉強会です。

当勉強会は産官学の会員が連携して、水素エネルギー技術を始めとする未来エネルギー技術の活用によってクリーンエネルギーの安定供給と高度利活用を図り、化石燃料依存からの脱却によるカーボンニュートラル社会実現へ貢献することを目標として活動しています。

毎年度末には連携の環の更なる拡大を目指し、非会員も参加可能なオープン・シンポジウムを開催しています。今年度のオープン・シンポジウムを以下の通り開催いたしますので、ご関心のある方は是非ご参加ください。

## セッション I

★:招待講師

13:30 開会挨拶と水素・未来エネルギー技術研究センターの紹介

武田 実 神戸大学大学院教授 HyTecセンター長、IGAS-HyTec主査

13:40 再生可能エネルギーの普及と課題に係る経済分析

八木千尋 京都大学 地球環境学堂 特定助教 ★

14:10 液化水素関連機器の研究開発を支える材料評価基盤の整備

日比政昭 国立研究開発法人 物質・材料研究機構(NIMS) NIMS特別研究員★

14:40 HyTec液体水素オープンラボラトリーの開設と将来構想

繁森 敦 神戸大学HyTec 学術研究員、IGAS-HyTec事務局長

## 休憩(10分)

## セッション II

★:招待講師

◎:ファシリテータ

15:10 水素・未来エネルギー技術勉強会の活動報告と今後の取組

駒井啓一 神戸大学HyTecリサーチ・フェロー

15:30 エネルギー・トランジション:2050年CN実現への道と課題

橘川武郎 国際大学学長、東京大学名誉教授、一橋大学名誉教授★

16:00 【パネル討論】カーボン・ニュートラルへのエネルギー・トランジションの時代

～今 水素・未来エネルギー技術は何にどう取り組むべきか～

武田 実◎、橘川武郎、日比政昭、八木千尋、駒井啓一、繁森 敦

16:30 質疑応答 および 連絡事項等

17:00 閉会

# 2025年度 オープン・シンポジウム企画概要

カーボン・ニュートラル(CN)の実現には、化石燃料資源に替わる未来エネルギーが不可欠です。未来エネルギー源の確保のみならず、それを社会に十分に供給するインフラや、上手に使いこなす知恵や工夫が必要です。技術革新だけでなく社会システムの大変革も伴うエネルギー・トランジションの時代が始まりつつあります。

**セッション I**では、招待講師として新進気鋭の環境経済研究者八木先生と産業界出身の研究者の日比先生のご講演に続き、4月に開設予定の国内大学で唯一の液体水素オープンラボ等についてHyTecから紹介いたします。

**セッション II**では、エネルギー・トランジションの認識も踏まえた今年度のIGAS-HyTecの活動経過をHyTecより報告の上、近著で「エネルギー・トランジション:2050年CN実現への道と課題」を出された橘川先生のご講演に続き、HyTecセンター長をファシリテータに、招待講師とHyTec登壇者によりパネル討論を実施します。

## 招待講師紹介

**橘川武郎** 1975年東京大学経済学部卒、1996年経済学博士(東京大学)。青山学院大学、ハーバード大学ビジネススクール、東京大学、一橋大学、東京理科大学にて研究、教育に携わる。日本経営史・エネルギー経済論の第一人者として経営史学会会長、総合エネルギー調査会等の審議会委員を歴任し、エネルギー基本計画の策定にも数次にわたり参画。現在は、国際大学学長、東京大学名誉教授、一橋大学名誉教授として広く活躍中。

**日比政昭** 1978年早稲田大学理工学部卒、1980年同修士課程修了。新日本製鉄(現日本製鉄)(株)にて、鉄鋼分野に加え、WE-NET以降の水素エネルギー分野プロジェクトにも従事し、企業における技術開発企画担当として豊富な経験を有する。NIMSでは、NIMS特別研究員として技術開発・共用部門において液化水素サプライチェーン構築を支える材料評価研究等に取り組んでいる。

**八木千尋** 2017年神戸大学経済学部入学、2020年同修士課程進学、2022年より博士課程在籍、2025年同課程修了。2025年4月京都大学地球環境学堂に特定助教として着任。専門は環境経済学。太陽光発電の普及促進に向けた蓄電機能の経済学的分析等を実施。再生可能エネルギー普及に資する政策提言を目的とした研究等にも取り組んでいる。

## HyTec登壇者紹介

**武田 実** 1984年神戸商船大学(現神戸大学)卒、1993年博士(理学)(大阪市立大学)。専門の超伝導・極低温科学を基礎に、早くから水素・未来エネルギーの重要性に着眼。2015年に国内大学で唯一の液体水素専用実験棟を完成。学内の再エネ等の研究者と連携した共同研究PJ等も推進。産官学連携の重要性を強く認識し勉強会(現IGAS-HyTec)を発足させると共に、全学横断的教育研究組織としてHyTecを発足させ、初代センター長に就任。

**駒井啓一** 1971年東京大学工学部卒、1990年工学博士(東京大学)。川崎重工業(株)、(一財)省エネルギー・センターを経て、2013年より川崎重工の水素チェーン部門に参加。2019年神戸大学産官学連携本部客員教授として武田教授の液体水素技術等産学連携推進を支援、勉強会(現IGAS-HyTec)発足等を担当。2023年HyTec客員教授を経て、現在はHyTecリサーチ・フェローとして活動中。

**繁森 敦** 1982年千葉大学工学部卒業。岩谷産業(株)にて特殊ガス部等を経て水素エネルギー部長、中央研究所副所長等を歴任。長年にわたる水素エネルギー技術に係る研究開発及び研究マネジメントの経験を活かし2023年神戸大学学術研究員としてHyTec設立に参加し、HyTecオープン・ラボラトリー開設推進に従事。IGAS-HyTec事務局長。